

「君とはもうこれっきりだ」 ミスター・アイスバーグは 1,000 ユーロの小切手をエリザの手に握らせた。さっきまで穏やかだった彼がまるでジキルとハイドのように変わったので彼女は猛烈なショックを受けた。八月のバリだというのに、彼女の心はまるで真冬のようなようだった。何よりも彼が渡した小切手が手ぎれ金だったことに彼女のプライドは深く傷ついた。「新しい恋ね。誰？」「いや、そういうことではなくて時がきたんだ」「ローラ・ラスタケールという女でしょ」「それともイニシャル B.B.の女かしら？」「違うよ。そんなんじゃない。僕はニューヨーク USA に行かなければならないんだ」「何のために？ 一体どうして？」彼らの問答はわずか 5 分で終わった。それは唐突な出来事のショックで彼女にそれ以上の質問が浮かばなかったからだ。彼は密かに全ての準備を整えていたらしくコーヒー・カラーの薄手のジャケットを羽織っただけで、外に停めてあるシトロエンに乗り込んであっさりとして出て行ってしまった。

彼の姿が視界から消えてもなお、エリザは茫然としていた。そして泣くことも忘れて幽霊のように立ち上がりブランデーをグラスに注いで一気に飲み干した。こんな時にも人間の脳は自動修復機能を働かせて我に返る方法を選択するらしい。それでもまだボーっとした状態で彼女は呟いた。「一体何なの！」

さて、そこへ友人のマノンが一人の女性を連れて訪ねてきた。「ヤッホ～！ 元気ィ～？」常日頃底抜けに明るい彼女は、相変わらずのハイトーンで尋ねる。「元気に見える？」キッとした表情を一瞬向けたエリザであったが、思い直して彼女たちを迎え入れ、思いの丈をぶちまけた。(この人いつ泣くのだろう？)「ねえ、聞いてよ！ 一緒に暮らしていた男が出て行ったの！」「コメディアンのアイツとは、私が失恋して泣いていた時に“僕の肩でお泣き”と言ってくれた時から暮らし始めたの」「希望に満ちて生命をかけて愛し合ったわ」「はかない恋だったというわけ？ いったいどうして？」「それがわかれば苦労はしないわよ。愛のあとで燃えつきてすべては終わりなんて、線香花火じゃあるまいし」「気の毒だけれど仕方ないわね。青春の思い出のひとつにしまいなさい」「冷たいのね」「それより私の友達、ローラを紹介するわ。実はきょうはあなたに彼女の恋の相談に来ただけけれど、逆になっちゃったわね」「いいえ、構わないわ」エリザは自分の怒りと相俟って慥然として答えた。(悲しみより怒りの方が大きいらしい)半ばヤケかもしれない。

「実は彼女も大変なの。幼馴染みのボニーとクライドに裏切られたの。ローラとクライドが付き合っているのはボニーも知っていたのよ。それがあるときボニーが彼に急接近して二人は恋仲。彼は唇によだれ状態よ。ひどいと思わない」「まあ、可哀そうなローラ」「彼女は思い出の瞳が忘れられなくて1週間泣き明かしたわ」そこでローラが初めて口を開いた。「生きる喜びもないわ。思い出をみつめて生きるなんて辛すぎるし」「そんなことを言ってはダメよ」エリザは同志を得たとばかり急に元気づいて、彼女にブランデーを勧めた。「さあ、今日はいくらでも開けるわよ、ナポレオン！」(ヤケのせい太っ腹である)「お互いにのらくらものに振り回されて災難だったわ。そんな男は世界の果てに行ってしまうえ、だわ」そんなエリザの氣勢に内気なローラは少しもたじろぐことなく一緒にブランデーを口にした。マノン一人が蚊帳の外であるが、これも付き合いとばかりに体よくナポレオンを味わった。「レミーマルタン？ カミュ？」「どちらでもいいわ。彼が置いていったものだもの」因みにこの3人は酒の値段が判らない。「愚かな恋なんて忘れて、飲み明かしましょう」(椿姫か？)「そうよ、飲んで馬鹿者のためのレクイエムを歌うわ。人生の勝負は誰がインで誰がアウトか最後までわからないわ」村上春樹氏の小説ではないけれど「やれやれ」である。(2012.12.31)

シャンソン邦題創作物語～ゲンズブール&アズナヴァールの歌から 失恋協奏曲 解答編

■シャルル・アズナヴァール ■セルジュ・ゲンズブール

&

特別ゲスト■シャルル・トレネ

- 1. ミスター・アイスバーグ
- 2. エリザ
- 3. ジキルとハイド
- 4. 八月のパリ
- 5. 手ぎれ
- 6. 誰？
- 7. 時
- 8. ローラ・ラスタケールという女
- 9. イニシャル B.B.
- 10. コーヒー・カラー
- 11. 幽霊
- 12. マノン
- 13. コメディアン
- 14. 僕の肩でお泣き
- 15. 希望に満ちて
- 16. 生命をかけて
- 17. はかない恋
- 18. それがわかれば
- 19. 愛のあとで
- 20. 燃えつきて
- 21. すべては終わり
- 22. 青春の思い出
- 23. ボニーとクライド
- 24. 唇によだれ
- 25. 可哀そうなローラ
- 26. 思い出の瞳
- 27. 生きる喜び
- 28. 思い出をみつめて
- 29. のらくらもの
- 30. 世界の果てに
- 31. 愚かな恋
- 32. 馬鹿者のためのレクイエム
- 33. 誰がインで誰がアウト